

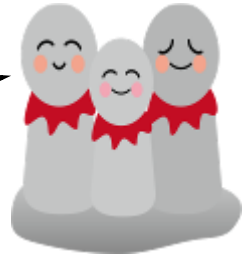


ぬれじぞう きもの みやまちじぞう  
濡れ地蔵に着物を着せた宮町地蔵

Miyamachi jizo dressed in a kimono because it was wet.

じぞうさま こ まもりがみ  
地蔵様は子どもの守り神です。

Jizo is the guardian deity of children.

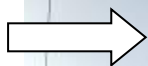


じぞうさま ちか あたごじんじや じぞうさま  
このお地蔵様はすぐ近くの愛宕神社の地蔵様です。  
This Jizo is the Jizo of the nearby Atago Shrine.

みやまち じぞうさま きもの き  
そして、宮町の地蔵様は着物を着ています。  
And Jizo of Miyamachi is wearing a kimono.

おむかし じぞうさま いけ なか しず  
それは、大昔、この地蔵様は池の中に沈んでいるの  
を助け出されたからです。  
That is because long ago this Jizo was helped  
to sink in the pond.

あたごじんじや  
愛宕神社 Atago Shrine.



あたごじんじや ぼうか かみさま  
愛宕神社は防火の神様です。

Atago Shrine is a god of fire prevention.

かじが起きないように地域を守ってくれています。

It protects the area from a fire.

さんのうまつり とき たねび  
山王祭の時のたいまつの種類はここからは運ばれます。

The torchlight at the time of the Sanno Festival is carried from here.

むらびと じぞうさま さむ ちが き  
村人たちは地蔵様がさぞや寒かったに違いないと気の毒に思い着物を着せたのが始まりです。  
The villagers started wearing kimono with pity that jizo must have been cold.

ひの用心の言葉は愛宕神社から始まったらしいよ。  
It seems that the words of caution for fire started at Atago Shrine.

